

令和7年度長久手市行政評価票（A票：事業評価票）					対象年度		令和6年度		
事業番号	113	事業名	市民企画支援事業		担当課		生涯学習課		
					予算区分（款-項-目-中事業）		9-4-5-5 市民企画支援事業		
			(中事業名) 市民企画支援事業		決算書ページ		233	233 一般	
I 基本情報	総合計画	基本目標	5	いつでも どこでも 誰とでも 広がる交流の輪					
		政策	1	まちの資源を生かした市民同士の交流の促進					
		施策	(2)	文化芸術による交流					
	その他	開始年度	2012						
		終了予定年度	年度	<input checked="" type="checkbox"/> 未定	市民・民間事業者との連携協働の可能性		市民とのみ協働可		
		根拠法令等	文化芸術基本法、劇場・音楽堂等の活性化に関する法律						
		関連計画	ながくて未来図（長久手市第6次総合計画）（H31. 3） 第3次長久手市文化芸術マスタープラン（H30. 3）						
	事業の概要・目的	①事業概要 (どんな取組を行うのか)		②活動指標 (取組の進捗をはかるもの。 また、それがどうなるのか)		③中間成果 (①【対象】がどのような 状態に変わるのか)			
		【対象】 <input checked="" type="checkbox"/> 市民 <input type="checkbox"/> 事業者 <input type="checkbox"/> 職員 <input type="checkbox"/> その他 対象の数： 61000 【事業内容】 市民が自ら企画提案した事業について、公益性が高い内容の事業を支援します。		【アクションプラン指標】 事業数【単年】 【その他の指標】 来場者数		定期的に映画鑑賞会のために文化の家を訪れ、他者と交流する機会が創出される。 (成果指標名) 主催する市民会員人数		④最終成果 (大事業の将来像)	
								大事業共通 定期的な映画会の実施を通して文化芸術による交流が生まれ、地域での顔見知りが増え、来場者の間でもこれまで関わりのなかった人ともコミュニケーションが生まれる。	

II 活動状況（アウトプットの詳細）	活動指標	活動指標名		単位	基準値（2023年） 目標値（2028年） ※AP指標のみ		区分	R6(2024) 年度	R7(2025) 年度	R8(2026) 年度	R9(2027) 年度	R10(2028) 年度
		1	【アクションプラン指標】	事業	基準値	12	目標値	14	14	14	14	14
			事業数【単年】 (R7工事休館のため、他会場にて実施) (R6, R8は一部工事休館のため調整)		目標値	14	実績	14				
		2	【その他指標】	人	基準値	-	目標値	768	768	768	768	768
			来場者数		目標値	-	実績	922				
		3			基準値		目標値					
					目標値		実績					
		4			基準値		目標値					
					目標値		実績					
エピソード	事業開始の背景	文化の家は1998年の開館以来「人々が集い憩う、市民全体の「家」となってほしい」「市民にとって芸術文化活動を展開し、地域の文化を発信する「わが家」を感じるような親しみ深い施設になってほしい」という願いのもとに開館当初から策定された文化芸術マスタープランに基づき展開させてきた。市民が主体となり運営する事業もプランで目指しており、シネマ倶楽部などが該当している。										
	各年度の取組、改善したこと。目標が達成できなかった場合はその理由											
	R 6	文化の家が1月～大規模改修工事に入ったため、シネマ倶楽部は、光のホールという活動の場所を一時的に失うこととなったが、文化の家側から交渉、調整を行い、休館中は図書館のAVルームにてこれまで通り、映画会を開催し続けることができた。これにより映画会での交流を維持することができている。				R 7						
	R 8					R 9						

Ⅲ 事業の成果・課題分析（アウトカムの詳細）	成果指標（CHECK）	成果指標名（中間成果をはかるもの）		単位	成果指標の推移と目標										
		主催する市民会員人数		人	年度		年度		【現状】	6 年度		7 年度		8 年度	
					指標変更		指標変更		8		8		8		
		成果達成状況					指標目標値の根拠								
		B	A. 想定より良い B. 想定どおり C. どちらともいえない D. 想定を下回っている					会員数を維持し、可能であれば新しい会員を加入させ、市民組織が継続していけるようにしていくことで、事業そのものが継続されていく。							
	評価の理由、分析														
	現在の会員数を維持できるようにサポートが必要。来場者の中から運営側に携わってみたいと思う市民が増えることは、関係性を育み、交流を生むということのゴールとも言える。														
	加える変化（ACTION）	今後の方向性		今後の方向性の理由											
		B	A. 拡充 B. 現状維持 C. 縮小 D. 廃止		現状のシネマ倶楽部の活動も十分評価できるものであるが、今後は、現体制を維持することが課題のため。										
		改善ポイント (成果指標を踏まえ、総合計画基本目標達成のため、必要性、有効性、効率性、公平性、歳入確保の観点等から見直しの余地のある取組を記入)													
見直しの余地のある取組名		見直しの方向性	理由及び具体的な見直しの内容								見直し可能年度				
1		自主的な運営のできる市民団体の育成による生きがい、やりがいを感じることでできる場を創出する。	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止	シネマ関係事業を市民団体シネマ倶楽部におまかせすることで、運営する市民の側も自主的な活動の中でのやりがいや、生きがい、他者との関わりを生んでいくことができる。								R7			
2		<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止													
3		<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止													

IV 費用	令和8年度予算の方向性（PLAN）	R8年度の費用（R7年度比）		3 年 間 の 推 移	(単位：千円)		R5(2023)年度		R6(2024)年度		R7(2025)年度		
		B	A. 拡充 B. 現状維持		事業費	予算	決算	予算	決算	予算			
			C. 縮小 D. 廃止			445	376	482	392	423			
		理由			特定財源	合計額							
		自主的な運営をすることができる市民団体が育成されてきており、彼らの活動を推進するために現状を維持していく。また運営的な部分は市民団体にまかせることで生きがいややりがいを感じることができるように維持する。				(内 国費)							
						(内 県費)							
						(内 諸収入)							
						(内 その他)							
		積算額			一般財源		445	376	482	392	423		
		未定			R7年度予算の内訳 ＜細々節名、 予算額、（R6年度予算額）＞								
					著作権使用料 0千円（10千円） 消耗品費 0千円（50千円） 印刷製本費 0千円（82千円） 映画鑑賞会フィルム借上料 0千円（340千円）								